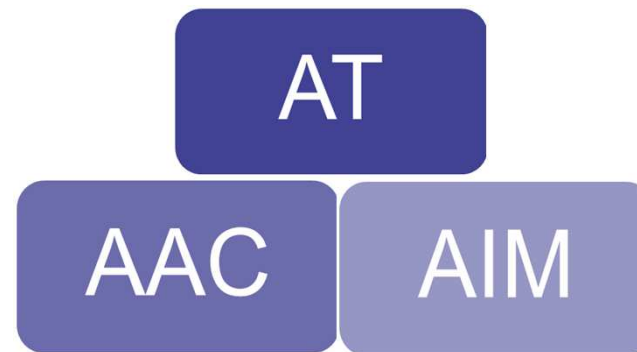


支援機器の活用について

香川県立高松支援学校
自立活動室

支援機器のキーワードは3つの **A**



AT

◎Assistive Technology(支援技術)



「障害による物理的な操作上の困難や障壁(バリア)を、機器を工夫することによって支援しようという考え方がアクセシビリティであり、それを可能にするもの」

文部科学省「情報の教育化に関する手引き」より

AT

の一例

- いろいろなスイッチでおもちゃや家電製品を動かす
- 電動車いす
- パソコン
- タブレット端末、スマートフォン など

AAC

◎Augmentative Alternative Communication
(拡大・代替コミュニケーション)



「手段にこだわらず、その人に残された能力とテクノロジーの力で自分の意思を相手に伝えられること」

中邑賢龍「AAC入門」2000年 こころリソースブック出版会より引用

AAC

拡大コミュニケーション

わずかに残されたコミュニケーション能力を、どのように活用するか

代替コミュニケーション

失われたコミュニケーション能力を、何に置き換えるか

中邑賢龍「AAC入門」2000年 こころリソースブック出版会より引用

AAC

の一例

ハイクテク

ICTなどの高度な技術を活用したコミュニケーション技法

- VOCA(音声出力コミュニケーションエイド)
- タブレット端末
- パソコン
- スマートフォン

など

AAC

の一例

ローテク

電氣的でない簡便な道具を用いるコミュニケーション技法

- 視線ボード
- 絵カード
- コミュニケーションボード

など

AAC

の一例

ノンテク

テクノロジーや道具は使わないコミュニケーション技法

- 指差し
- ジェスチャー
- 手話、指文字

など

AIM

- ・Accessible Instructional Materials
(アクセシブルな教材)



「あつかいやすい配慮がされた教材のこと」

AIM

の一例

- 拡大図書、点字
- デジタル教科書
- 電子図書
- iPadなどの学習教材

など

ATもAACもAIMも、発想は共通！

手段にこだわらず
今できることと道具を組み合わせ
できることを増やそう



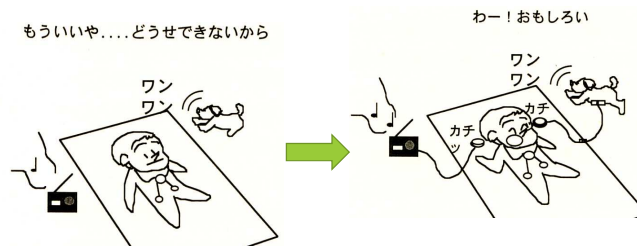
できる場面、活動を増やすことで、
「もっとしたい！」「やってみようかな」という意欲を育てる。



支援機器の使用例

使用例 その1 スイッチを使っておもちゃを動かそう

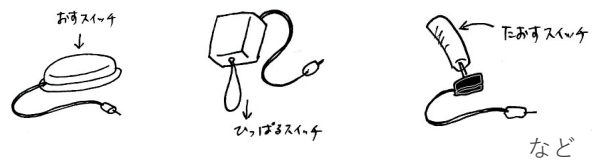
自分で動かすことの楽しさを味わいましょう



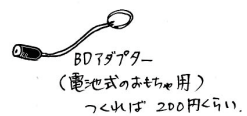
中邑賢龍「AAC入門」2000年 こころリソースブック出版会より引用

つかうもの

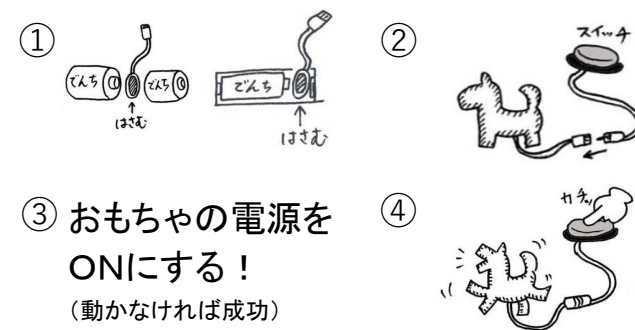
①スイッチ（楽に扱えるものを選ぶ）



②BDアダプター



つかいかた



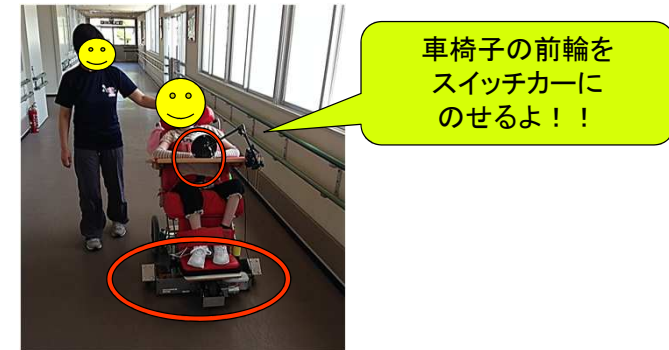
活用事例

ボールがごろごろ……



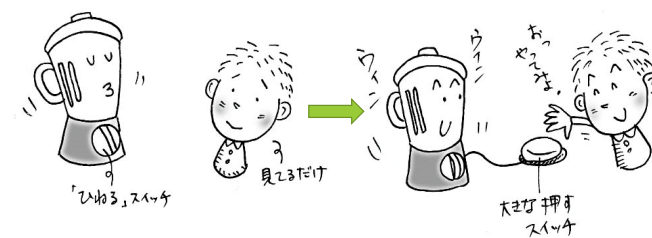
活用事例

スイッチカーですいすい移動



使用例 その2

スイッチで電化製品を動かそう



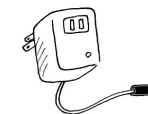
つかうもの

①スイッチ

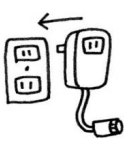
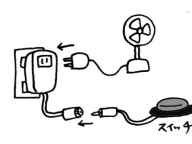


②リモコンリレー

(2024年12月現在は市販されていません)



つかいかた

- ① 
- ② 
- ③ 電化製品のスイッチをONにする！
(動かなければ成功)
- ④ 

スイッチを押し続けるのが難しいときには
こんな機器も・・・

ラッチ & タイマー LT2

ラッチ機能

1回スイッチを押すと動き続け、
もう1回押すと止まる機能



タイマー機能

タイマー(秒)が
セットでき、1回
押すと設定の
時間動き続ける
機能

アシステックオンラインショップHPより引用 <https://assistech-lab.com/?pid=162071558>

リモコンリレーとラッチ & タイマーが
一つになったものもあります

ウゴキング



パシフィックサプライHPより引用 <https://www.p-supply.co.jp/products/index.php?act=detail&pid=506>

活用事例

ボールプールを振動させちゃお～！



スイッチを押すと
体全体にぶるぶるが
伝わってくる～！

ボールプールの中に
マッサージ器を入れて

活用事例

かき氷だって作れます！



夏はやっぱり
かき氷でしょ！

使用例 その3 VOCAを使って伝えよう



つかうもの

①よく使うVOCA (Voice Output Communication Aid)

ビッグマック



- ・1つのメッセージが録音出力できる。
- ・外部スイッチを接続できる。

ステップ バイ ステップ



- ・決まった時間のなかで複数メッセージが録音出力できる。
- ・外部スイッチを接続できる。

アプリケーションソフト



DropTalk (有料)



DropTap



- ・シンボルと一緒に使うことができる。
- ・多くのメッセージを作成・保存し、状況に応じて使用することができる。
- ・外部スイッチを接続できる。

写真はパシフィックサプライ株式会社HPより引用 <https://www.p-supply.co.jp/products/>

活用事例

ハロウィーンの合言葉を伝えたよ



Trick or Treat!

活用事例

iPad アプリ「DropTalkHD」であいさつ

行ってらっしゃい！



行ってきます！

活用事例

iPad とスイッチを繋げた事例

1時間目は
朝の会です



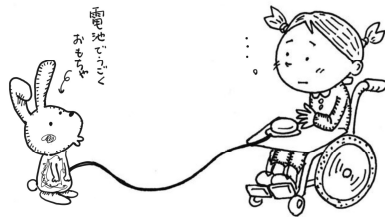
支援機器活用の 3つの落とし穴

支援機器の落とし穴 その1



スイッチを押すことが目的になっていませんか？
活動が流れることを優先してはいませんか？

支援機器の落とし穴 その2



どうしたらいいのか、理解できていないかも知れません。
そもそも、このおもちゃに興味があるのでしょうか？

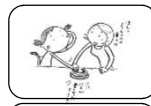
支援機器の落とし穴 その3



活動ではなく、スイッチの感触を楽しんでいるだけ？
かも知れません。
子どもの意図と、私たちの意図はずれていませんか？

支援機器活用のポイント

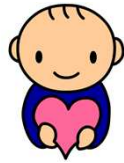
- 活動の成立を急がずに…
子どもの動きをじっくり、待とう。
- 遊びや活動が子どもに合っているのか
しっかり考えよう。
- スイッチを押すことが目的ではありません。
何が目的かを見失わないようにしましょう。



支援機器活用のまとめ

活動を支えていくのは

「この子は方法さえあれば、自分でできる」
という視点



支援機器を活用することで

成功体験

- ・自分でできた
- ・活動に参加できた。

・学習や生活が
楽になった。

次への意欲

- ・またやりたい
- ・次は何に
挑戦しよう



どんどん使ってみてください

アイデア・工夫

子どもをよく
見て

つかってみる

やってみる

新しい
発見が...

